

なきごえ



1981

1

大 阪 市
天王寺動物園協会

二宮敏明



あけましておめでとうございます。今年で天王寺動物園は開園して満66年を迎えたわけですが、新年にあたり、公園局長という立場をはなれて、子を持つ親の立場から動物園への希望を考えてみました。

岡山で生まれ育った私は猛獣を見る機会といえば年に1、2度、地方巡業にやってくるサーカスのゾウやライオンにたまにお目にかかる程度で、大正4年から天王寺動物園で、猛獣たちを見ることの出来た大阪の人々は大変恵まれていたと思います。公園局長に就任して1年、動物園を身近に見てきたわけですが、特に昨夏、私の息子が動物園でのサマースクールを受講して、一層動物園を身近に感じるようになりました。このサマースクールは大学生を中心にしたボランティアの方々の協力が大きいわけですが、受講した小学生の中には大きくなってこのようなボランティア活動に参加してみたいという子供が多数いたようです。小学生の時は動物園にあこがれ年に何回となく訪れるのに、中学生になると途端に行かなくなるのはどうしてでしょうか。中学生にもなって子供の行く動物園へ行くなると、というような考え方が生まれるためでしょうか。中学から高校時代は動物園を訪れる機会はほとんどなくなり、次に訪れるのは、極端に言えば自分の子供を連れて行く時にまで間隔があくのが多いようです。この中学時代から生じる動物園疎外はぜひ打ち破りたいものです。特にサマースクールを受講した小学生は動物園での学び方、利用方法を修得しているだけに、この子供たちを手はじめに追跡調査をして、動物園と中学生以上との断層を埋める工夫をしてほしいものですね。

動物園の門をくぐって、ここにはどんな動物がい

るのか、どこに行けば目的の動物が見られるのか、巡路を明確にすることは大切なことで、特に教育の場である動物園では入口にはそれらのことが一目瞭然で分かるような工夫がほしいものです。例えば入口に園内が一望できるような高い塔とか大観覧車を作ってはという市民の意見も耳にしますが、これも一つの考え方でしょう。アニマルサインや標示板、園内案内図などでも園内の見どころ、巡路などを知らせることは、特に必要でしょう。

また、四季折々動物の状況は変化をしているわけですが、その状況をきめ細かく説明することができれば実にすばらしいことだと思います。例えば動物の出産や産卵、育児、採食、体のしくみなどです。これは子供に動物に対する興味を持たせるとともに、動物園の目ざす子供の情操教育につながるのではないかと考えるからです。説明の方法としては、説明板、写真、録音テープなどいろいろな方法が考えられるでしょう。それと付随して、動物園で働く現場のみなさんのご苦労もぜひ紹介してほしいものです。例えば、動物の餌の調理、病気の治療、冷暖房、花壇・植栽……動物園は多方面にわたる職種の人々によって、運営されているわけですが、「動物園の日」などでも設けて、その日は希望する人に、動物園で働く人達の生の姿を見ていただけたらと思います。

動物の問題としては、世界の珍獣を集めることも大切ですが、いかにして、今いる動物をうまく見てもらえるかを工夫してほしいものです。肉食動物は昼間は寝てばかりいるのが多いようですが、キリンやゾウ、チンパンジーに人気があるのは、子供達の前で活動するからでしょう。どのような方策が良いかは、まだ成案はありませんが、動物愛護の精神を忘れずに動物の展示に工夫をこらして、動きのある動物園にするのも今後の大きな課題でしょう。

天王寺動物園が今後70年、80年と歴史を経るに従ってますます魅力のある動物園になることを願っています。

昭和56年元旦
(大阪市公園局長)

なきごえ1月号もくじ

動物と私 2
“カンムリウズラのお目見え” 3
動物園グラフ・動物園日記 4・5
鶏の話題 6・7
ニワトリのなきごえ 8・9
キーパーズ・アイ ⑬ 10
動物園ニュース 11

表紙の写真説明

“アオエリヤケイ”

ヤケイ(野鷲)の仲間は4種類いますが、その内の1種でジャワ島、バリ島などに分布しています。

(撮影:宮下 実)



“カンムリウズラのお目見え”

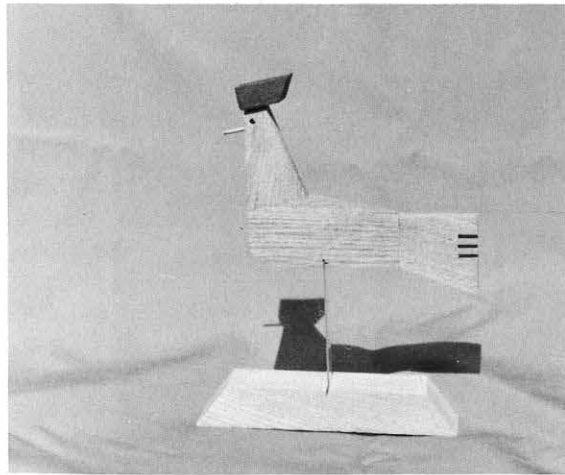
昨年10月28日、2つがいのカンムリウズラが入園しました。原産地は米国西部で、日本のウズラより一まわり大きく、その名のとおり頭上にはかわいらしい羽冠があります。

(撮影:宮下 実)

動物園グラフ

新春恒例のエトにちなむおもちゃ展も今年は16回目を迎え、ますます盛況です。今回の「トリのおもちゃ展」は世界25ヶ国の鶏のおもちゃがせいぞろい、その中から見どころを特集してみました。

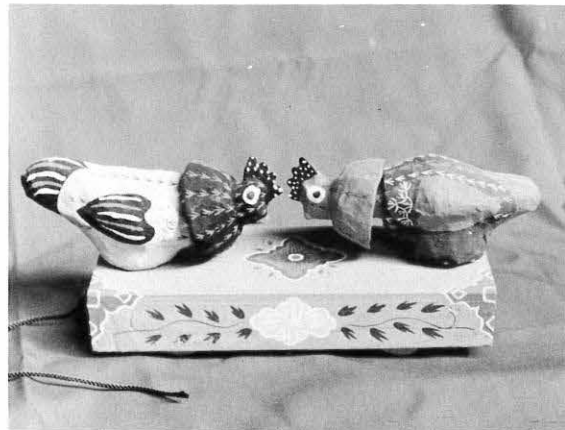
写真提供：おもちゃの動物園長 吉田平七郎氏



山田康雄作



立田川



タウチー



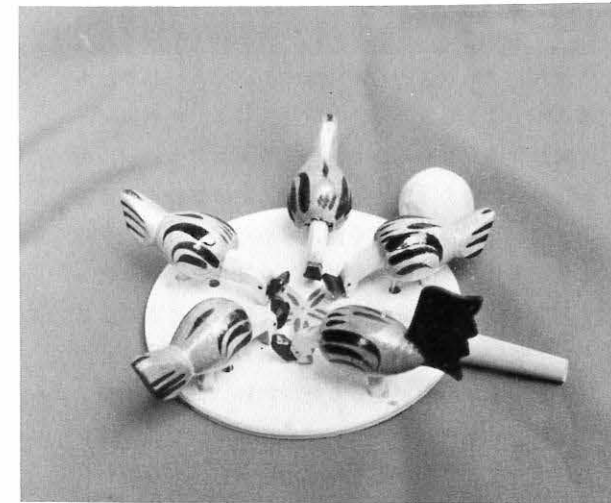
デンマーク



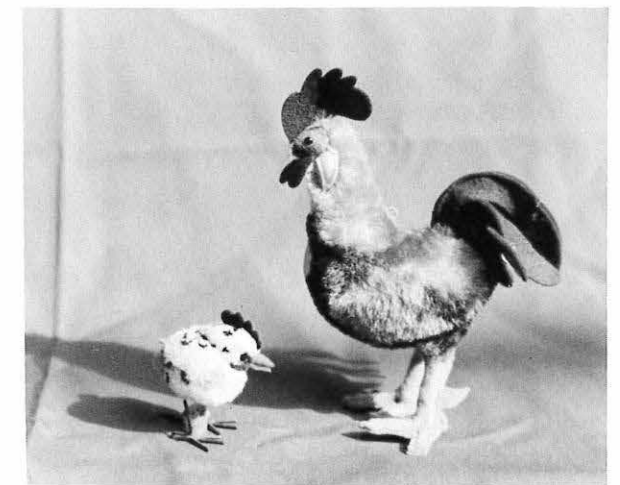
スウェーデン



ポルトガル



ソ連



ドイツ

11・12月の動物園日記

- 11/22. カバのデブ子が他のカバ2頭と、きょうから同居することになりました。
23. ゴリラの雄ゴローが風邪気味で下痢が続いていますので治療をはじめました。先日生まれたトカラヤギの子供の母親の乳があまり出ないので、その子供に補助的な人工補乳をしました。
25. ラマの仔が順調に育っています。
26. トカラヤギの仔が2頭生まれました。1頭が数時間しても起立できなかったので介添えにより、何とか立つことができました。

27. 今年生まれのニホンジカの仔が、肛門狭窄によって衰弱し死亡しました。
28. ライオンのユリが1頭出産しました。
29. ゾウのユリ子が足にけがをしますので治療しました。
30. 今年生まれのレアの仔が死亡しました。
- 12/ 1. 飼育係員の担当動物が一部変わりました。
2. コミミズクが食道の異常でなくなりました。
3. エボシキジ雌2羽が当園に寄贈されました。
4. ベンガルヤマネコの雌1頭とインドニジキヘビ1頭が当園に寄贈されました。
- ニホンザルの雌が闘争によりショック死しました。

- メガネカイマンの仔を水溜りから大プールへ移動しました。
- 日本動物園水族館協会の第28回獣医並びに飼育技術者研究会が日本モンキーセンターで、2日間にわたり行われます。当園からは、3人が発表しました。
5. 能勢で保護されたタヌキが警察より届けられました。交通事故にあっただけで、衰弱していましたので、X線で骨折がないが調べ栄養剤を注射して入院させました。
6. フンボルトペンギンの仔とケープペンギンの仔が巣立ちして、元気に外のプールで泳ぎ出しました。

7. カバの老雌が雄に咬まれました。ボランティア例会があり、夜の動物園見学会が2時間にわたり催されました。
8. 旧研究室器材を新動物病院へ移動しました。
9. 旧研究室改装工事が始まりました。
10. ゾウのユリ子がヒロ子に押されたためか、異常な興奮を示しました。
11. 寄贈のキュウカンチョウ、コザクラインコ及び保護の外国産サンショウウオを次々と展示しました。
12. ホッキョクグマの寝室を消毒しました。キンケイの雌がイタチにより殺されました。

鶏の話題

吉田平七郎

△今も猶ほ神代のまゝに聞ゆるは

長鳴どりの声にぞありける（清奥）

本誌の「なきごえ」に因んで鶏の鳴声から始める。鶏とは庭つ鳥カケで古名はその鳴声からカケであった。コケッコーと早朝に鳴くのはテリトリソングだという。常夜の長鳴鳥で長く鳴くのは我々の発声と違って最初のコケツは吐く息（呼気）でッコーは吸気で鳴いていると川村多実二先生から教えられた。鳥類には肺臓の奥に気嚢があって両方で空気の入りにともない鳴けるしくみになっているからだ。△古来鶏は時を告げる目覚し時計として又闘鶏で世界に広まったもので平安時代には3月3日の宮廷行事でもあった。年中行事絵巻には清涼殿前の場面があり2羽の雄鶏が向い合って相手をにらみつけている所であるがその後方の松と柳の木に各1羽の雌鶏が繋がれている。トロフィの代りに雌を見せつけて闘争心をかきたてるためである。鳥獣戯画3の巻にも1羽の雌鶏が紐で足をしばり棒杭につながれていて2羽の雄鶏に見せかけている場面がある。



岡本太郎作

△奈良博物館本の地獄草紙第4段には鶏地獄あり生前闘争を好み鳥獣を苦しめた亡者たちがこの地獄で火を吐く巨大な雄鶏の怪物に蹴ちらされ引き裂かれているところである。これは鶏の復讐心ではなく闘鶏の凄じさから動物愛護を因果応報で強調していることになるので私は傑作だと思っている。

△中国では鶏に五徳ありとあって尊敬されている。頭に鶏冠をいただくは文、足に距（けづめ）のある

のは武、敵前に在って取えて闘うのは勇、食を見て相告げるのは仁、夜を守って時を失わないのが信であるという。これでは雄の性的特徴だけが礼讃されているが雌の方の母性愛が忘れられていて片手落ちになっている。

△鶏は雌雄の別がはっきりしていてその家族生活は一夫多妻であるが常に平和が維持されている。動物の社会に順位制があることを初めて指摘したのはノルウェイの動物学者シェルデラップ・エッベが主として鶏の社会性に関してなされたものでニホンザルでもその原則が確認されたまでである。

人間社会でもボス争いであくせくしているようだが鶏に学んで成功した人がある。蚊取り線香の商標に鶏が使われているので問合せてみたところが明治18年創業当時社長さんが「鶏口となるとも牛後となる勿れ」で独立された由、誠におめでたい話ではある。

△閑話休題、私も鶏に学ぶ一人で先日PR誌が取材に来て鶏の魅力はときくので特に近頃愛着を覚えるのは鶏が2本足で大地を踏みしめて直立歩行している点がとても人間的で好きだと返答した。胸を張って天高く頭を持上げて見事に生え伸びた尾羽をなびかせて自信満々悠々と闊歩しているではないか。人様のようにジタバタ忙しく死に物狂いになって歩いてはいない。私も鶏になってマイペースでいつ迄もどこ迄も楽しく我が道を我が足で歩いて行きたいと思っている。



ピカソ作

△とりといえば鶏、卵といえば鶏卵そのものになっている程身近な鶏が家畜であるために動物園には

いないと諦めていたら天王寺動物園の南園に大西金次郎さんのすばらしい「とり」の抽象彫刻を発見して驚いた。其は生きている鶏よりも鶏らしい鶏になっている。其は鶏だけが持っている独特な性格だけを抽出して純粋な結晶体にまで造形化されている。



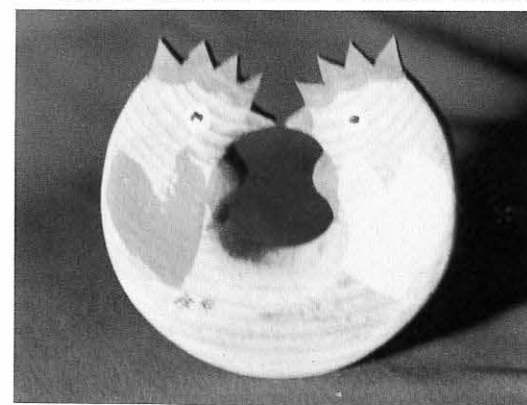
大西金次郎作

極度に単純化されて其物ズバリに表現されたもの程美しい。出来るだけ手数を省いて作られた原始芸術やおもちゃとも相通じるものが現代美術や工芸にあって私たちが魅きつけている。

おもちゃからピカソや岡本太郎までとりどりに集った鶏のコンクール展で折角あなたのベストワンを選んでみて下さい。

△おもちゃと一口にいっても一般に通じないものがあるので解説しておきたい。

「鶏合せ」和歌山県田辺市にある闘鶏神社では源



鶏合せ

平の昔弁慶の父港増が源平何れに味方すべきかに迷った末、社前で紅白各々7羽の鶏を闘わせて神意を伺った。すると白鶏の方が7羽とも勝ったので源氏

に味方したという。郷土玩具の鶏合せは見事にデザインされた傑作である。

「立田川」というのは青森県のひねりで福原英治郎さん67才とサイン入りの珍品。昔葛飾北斎が11代將軍徳川家斉の前で席画を所望された時、彼は白紙に一刷毛、藍をひいて水の流れをあらわし、その上を足の裏に朱肉をつけた鶏を歩かせて点々と赤い足あとをつけ紅葉の名所「立田川」に見立ててお褒めにあずかったという話を見事におもちゃ化したものである。

△諸手船は出雲の神話人形で小舟にえびずさんが寝そべって舳先に鶏を1羽止まらせてある。（旧作は御腹の上に）神代の昔、事代主神（えびす様）が毎



諸手船

夜小船に乗って海を渡り対岸に住む美保津姫の所へ通われたが一夜鶏が時刻を間違えて早く鳴いたので大急ぎで暗夜の夜中舟に乗られ途中慌てておられたので櫂を手ばなされてしまい足で水を掻いで帰るうちワニザメが片足にかみついてそれからピッコになられたという。以来命と姫をお祀りしてある美保神社のある美保関の人々は鶏を飼わず卵も食べなくなった由。諸手船の神事は国譲りに因んだもので人形では二つの神話を一緒にしてしまっている。ともあれ十日夷の主人公えべっさんと鶏がからみ合っていたとは酉年の正月だから話題になる。神話や伝説は元來人が作ったものだからこの説話にも色々変わり話もあり、えびす様に聞いても聞えず唯えびす顔で笑っておられた。

おわり

（おもちゃの動物園長）

ニワトリのなきごえ

正田陽一

ニワトリの古名は「かけ(可鶏)」といい、現在の名はその枕言葉「庭っ鳥」が起源となっているという。「かけ」の名はニワトリの鳴き声に由来したもので、英語では雄鶏をコック(cock)と呼びヒヨコをチック(chick)というが、これも鳴き声を模したものである。鳥の名には和名のカッコウやブッポウ



黒柏

ウ、英名のカラス(crow)やヒドリガモ(widgeon)のように鳴き声に因んだと思われる例は数多い。

ところで日本人がコケ・コッ・コーと聞いている雄鶏の「とき」を告げる声も、それぞれの国によって表現が変わっているのは面白いことである。

イギリス人はカッカ・ドウドウル・ドゥー(cockadoodle doo)、フランス人はコク・リ・コー(cocorico)、ドイツ人はキケ・リ・キー(kikeriki)、スペイン人はキキ・リ・キー(quiquiriqui)、ロシア人はクカ・レ・クー(kukapeky)、中国人はオ・オ・オー(喔喔喔)、韓国人はコ・キ・ヨー(ㄱㅇㅇ)と聞きとっている。もっとも表現に若干の差はあっても、三節の鳴き方に根本的な差の無いことは当然だ。

野生のニワトリの仲間には次の4種が知られているが、その鳴き声はそれぞれ異った特色を持つ。

セキショクヤケイ(Red Jungle Fowl: *Gallus gallus*)は家禽のニワトリと同じコケ・コッ・コーと鳴くが、ハイロヤケイ(Grey Jungle Fowl: *G. sonnerati*)はクック・カヤ・カヤ・クックと4節の独特の音を出す。セイロンヤケイ(Ceyron Jungle Fowl: *G. lafayetiei*)はクラック・ジョイ・ジョイスと鳴くし、アオエリヤケイ(Green Jungle Fowl: *G. varius*)はチャウ・ワウ・ウァクと3節の音で鳴くという。

この鳴き声の類似性からもセキショクヤケイがニワトリの祖先種であると考えられる訳であるが、現

在のニワトリの多様性から見て他の3種の野鶏からの遺伝子の流入もあったものと想像される。

ジャワ島周辺ではアオエリヤケイの雄をニワトリの雌にかけた一代雑種が鳴き声を楽しむために飼育されている。その声はコケ・キョーとニワトリより1音節短いが、非常に高く澄んだ声である。

ニワトリの「とき」は最高の順位の雄のステータスシンボルともいえるべきものである。順位の下位のニワトリには「とき」をつげる権利が無い。

いま複数の雄鶏を別々のケージに入れて飼っておくと、毎朝1分間に1回ぐらいの頻度で皆「とき」をつげる。この雄鶏たちを一緒にの部屋での群飼に切りかえると、最初のうちはお互いに喧嘩し合っているがしばらくして順位が確立すると安定して静かになる。そして順位が1位の雄の「とき」の回数には変化が

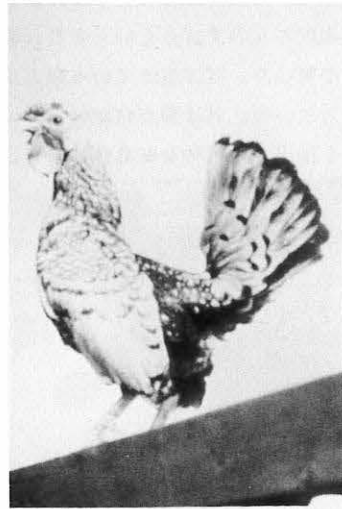


土佐九斤

見られないが、2位以下のものはバツリ「とき」をつけなくなる。この雄鶏を再び単飼ケージに戻すとまた全部の雄がそれぞれ前と同じように頻繁に「とき」を告げるようになるのである。

このニワトリの「とき」は昔の人にとって時計の代りの役目を果たすものとして重要なものであった。

1番鶏は午前2時頃(丑)の2番鶏は4時頃(寅



ゴールデンセブライトバンタム

の刻)に鳴くから、夜明けと共に仕事を始める造り酒屋などでは報晨の目的でニワトリを飼うところが多かった。

日本人は昔、1日の時間を正確に24等分しないで、日の出と日の入りを基準に1日を夜と晝にわけそれぞれを6等分して、これに12支の名をつけて子の刻・丑の刻と呼んでいた。だから冬は夜の間の時間が長くなるし、夏は逆に晝間の時間が長くなる。日の出が卯の刻であるから、丁度その2刻前と1刻前に「とき」をつげるニワトリは太陽の運行にあわせて1日の生活をおくる人々にとって誠に便利な存在だったのである。

ニワトリが何故正確に夜明け前の時間を知りなのか? おそらく体内に持つ生物時計のリズムによって真暗な中に夜明けの近いことを測っているのであろう。

百人一首の中の「夜をこめて、とりのそら音は、はかるとも、世にあふさかの、閑はゆるさじ」という清少納言の歌は、ニワトリの鳴き真似で番人をだ



ワイアンドット

まし函谷関の関所を開かせた中国の戦国時代の故事をふまえて、「夜通し鶏の声を真似したところで私に逢ふための関所を通ることはできませんよ」という彼女らしい才気溢れた歌である。

このほか、天智天皇が鶏鳴を合図に政庁で太鼓を打たせ政務を開始されたとか、ニワトリの報晨の役割を示す例は多い。

しかしニワトリの声はこのような実用的な目的によってのみ注目されたのではない。古来、日本人はその良く響き美しい抑揚のあるその「とき」を、耳で楽しむために飼育し育種してきた。

日本の3長鳴鶏といわれるのは次の3種である。
東天紅: 高知県原産で羽色は赤笹、ときかは単冠。鳴声は高く澄んでいて、3種中1番長く、25秒という記録もある。昭和11年天然記念物指定。

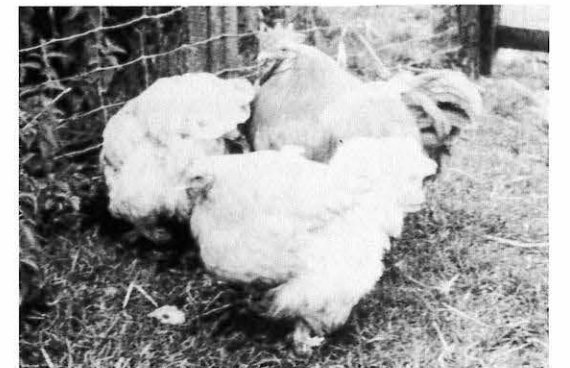
声良: 青森、秋田・岩手県の山間部が原産地。羽色は白笹で、ときかは豆冠。体型はシャモに似て尾羽が長い。鳴声は1番太く低く、荘重な感があり15秒くらい続く。昭和12年天然記念物指定。

唐丸: 新潟県原産で、羽色は黒色だが白色種も作られている。ときかは単冠。鳴声は1番張りがあるって遠くまで良く響く。昭和14年天然記念物。これらの3種はいずれも小国という品種に由来しており、長鳴性について共通の遺伝的要因を備えていることが想像される。

小国は平安時代に遣唐使の手によって中国からもたらされたと伝えられている品種で、正確な時刻に「とき」を告げるというので「正刻」とか「正告」という字を当てることもある。

またたいへん興味深いことは、これら3種の長鳴鶏の品種の成立に遺伝的要因ばかりでなく環境要因も重要な役割を果たしたと思われる点である。

これら3品種の原産地はいずれも深い山間いの土地に限られている。日本鶏の場合ばかりではない。外国鶏にもドイツのクリューエルなど長鳴鶏がいくつか成立しているが、みな山岳地帯を原産地としたものばかりである。



パフコーチン

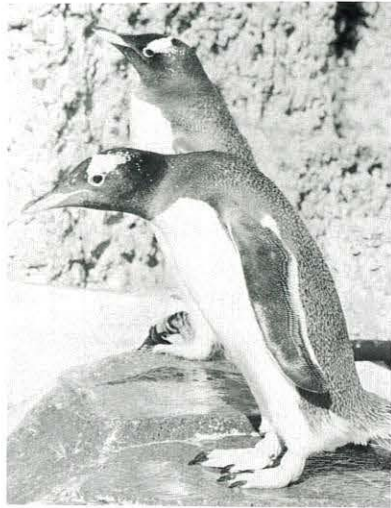
おそらくこれらの地方ではニワトリの「とき」は山にこだまして長く尾をひいて響き、これがニワトリの長鳴性を一層助長したものであろう。

山岳地方に生活する人達がヨーデルのような独特の歌唱法を生み出してきたこととも、これは関係がありそうである。

ニワトリのなきごえと題しながら「とき」の話ばかりで、雌鶏やヒヨコの声に触れぬうちに紙数が盡きた。この辺で筆をおくことにする。

(東京大学農学部教授)

『ジェンツーペンギンのダイビング?』



今年は例年より早く寒さが日本にやって来ましたが、当園には、その寒さをまちかねている動物が多くいます。その中でも特にペンギン達ははりきって

いる様子です。この前の池清掃の時の事です。清掃のため池の水を全部ぬいてブラシでこすっていると、「ドタッ」と、まるで肉のかたまりでも落ちた様な音がしました。見るとジェンツーペンギンが水の無い池にはりきってダイビングをしたのでした。「冬はボクラの季節だ。」と喜びすぎたのか水があるかないかも見ず飛び込んでしまったのでしょうか。「アレ」
とばかりドジなジェンツールの池底でのまじめな顔を見ていると、「せっかくはりきっているのに」と言いたそうに思え、おかしさよりも、「早くしろよ!」とせかされているようで池をこする手に力が入ってしまいました。こんなはりきりペンギンは他園にもいるのでしょうか?

(飼育課：仲谷 登)

『タンチョウヅルのお母さんは食通なんです。』

人間の中でも食べ物にうるさい人は「あの人はシヨクツウで、おいしいものや、珍しいものをこのむ人」なんて人がいますが、当園のタンチョウの雌は、なかなかのものです。人間ではタイなどの魚を焼いたりして、食べたあと、目玉をペロっと食べ、「これが魚で一番おいしい。タイの目を食べない人は食通でないヨ」というくらいだそうです。当園のタンチョウの雌はアジの目玉が好物です。餌にアジをあたえると、他のタンチョウやヅルなどは丸のみにするか、ちぎって食べる事をしますが、このタンチョウだけは、何よりも一番にあたえたアジの目玉つきから始めます。目玉のふちをコツとさしてじょうずに目玉だけを食べてまわるのです。アジが夕方まで残餌していても、どのアジにも目玉は見当たりません。なかなかの食通に、びっくりしてしまう毎日です。一度当園のタンチョウヅル舎でその



様子を見られてはどうでしょう。きっと食べて見ようと思う気になってしまいます。係員として家で食べて見ました、答えは「……」。

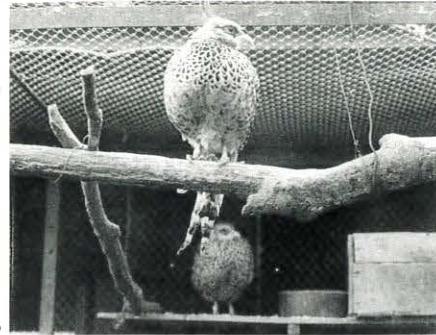
(飼育課：仲谷 登)

動物園ニュース

§寄贈動物相づく

9月、10月と沢山のキジ類を寄贈して下さいました。奈良在住の上村画伯が12月13日、またエボシキジの雌2羽を寄贈して下さいました。

また12月4日には、ベンガルヤマネコの雌1頭の寄贈がありました。



検疫終了後、小獣舎で今まで飼われていた2頭と共に展示しています。

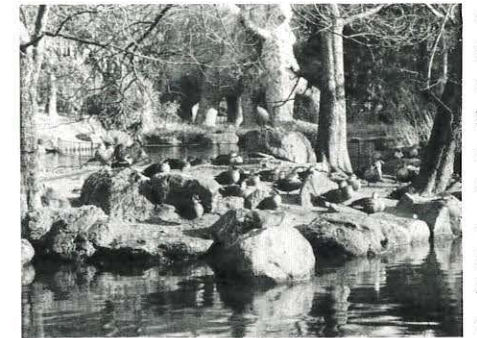


また同じ4日にはインドニシキヘビ1頭、12月14日

園で昨年12月3日に生れたものです。一方雌は西ドイツのデュッセルドルフ生れです。いずれもまだ約1才のかわいい小熊ですが、まだ現在、見合い中ですので2頭いっしょに放飼場に出すことはできませんが、新年早々2頭のかわいい姿を御覧いただけます。

§カルガモの飛来

毎年、冬になると多くのカルガモが南園の日本庭園の池にやってきます。今年も10月頃から少しずつやってきていましたが、12月10日には当園飼われて



いるものを含めて65羽ものカルガモが数えられました。早朝には池の

上空を飛ぶカモたちを見ることができます。

§旧動物病院の改装工事始まる

昨年7月に動物病院の増築部分が完成しましたが、今回、西側の旧設部分の内部改装工事が12月10日か

くらしを彩るショッピング



近鉄百貨店

アベノ店 (06) 624-1111・上本町店 (06) 779-1231
東京近鉄 (0422) 21-3331

・近鉄百貨店グループ

大阪(アベノ・上本町)・東大阪・奈良・京都・岐阜
枚方・四日市・和歌山・徳山・別府・東京(吉祥寺)

『ジェンツーペンギンのダイビング?』



今年は例年より早く寒さが日本にやって来ましたが、当園には、その寒さをまかかっている動物が多くいます。その中でも特にペンギン達ははりきって

いる様子です。この前の池清掃の時の事です。清掃のため池の水を全部ぬいてブラシでこすっていると、「ドタッ」と、まるで肉のかたまりでも落ちた様な音がしました。見るとジェンツーペンギンが水の無い池にはりきってダイビングをしたのでした。「冬はボクラの季節だ。」と喜びすぎたのか水があるかないかも見ず飛び込んでしまったのでしょうか。「アレー」とばかりドジなジェンツーの池底でのまじめな顔を見ていると、「せっかくはりきっているのに」と言いたそうに思え、おかしさよりも、「早くしろよ!」とせかされているようで池をこする手に力が入ってしまいました。こんなはりきりペンギンは他園にもいるでしょうか?

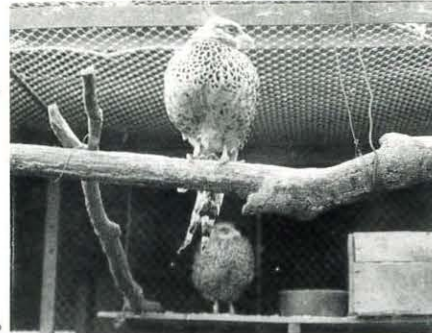
(飼育課: 仲谷 登)

動物園ニュース

§寄贈動物相づく

9月、10月と沢山のキジ類を寄贈して下さいました。奈良在住の上村画伯が12月13日、またエボシキジの雌2羽を寄贈して下さいました。

また12月4日には、ベンガルヤマネコの雌1頭の寄贈がありました。



検疫終了後、小獣舎で今まで飼われていた2頭と共に展示しています。



また同じ4日にはインドニシキヘビ1頭、12月14日にはメガネカイマン1頭の寄贈がありました。それぞれ検疫終了後、爬虫類舎に展示しています。

§ホッキョクグマ入園

12月15日ホッキョクグマの若いカップルが入園しました。これまで雄2頭で飼育していましたが、今回、繁殖をはかるためこの番と入れ替えることになりました。

ホッキョクグマは野生下では非常に減少しており、動物園で繁殖させることが重要となってきました。

まだ繁殖に成功している動物園は少ないのですが、この2頭が大きくなる数年後には充分期待できることでしょう。今回入園した雄は北海道の旭川市にある旭山動物園



園で昨年の12月3日に生れたものです。一方雌は西ドイツのデュッセルドルフ生れです。いずれもまだ約1才のかわいい小熊ですが、まだ現在、見合い中ですので2頭いっしょに放飼場に出すことはできませんが、新年早々2頭のかわいい姿を御覧いただけるでしょう。

園で昨年の12月3日に生れたものです。一方雌は西ドイツのデュッセルドルフ生れです。いずれもまだ約1才のかわいい小熊ですが、まだ現在、見合い中ですので2頭いっしょに放飼場に出すことはできませんが、新年早々2頭のかわいい姿を御覧いただけるでしょう。

§カルガモの飛来

毎年、冬になると多くのカルガモが南園の日本庭園の池にやってきます。今年も10月頃から少しずつやってきていましたが、12月10日には当園飼われて



いるものを含めて65羽ものカルガモが数えられました。早朝には池の

上空を飛ぶカモたちを見ることができます。

§旧動物病院の改装工事始まる

昨年7月に動物病院の増築部分が完成しましたが、今回、西側の旧設部分の内部改装工事が12月10日から始まりました。この工事では広くて使いやすい解剖室や入院動物隔離室などが作られる予定です。完成は4月初めになる予定ですので、しばらくの間少々不便ですが、完成後はより充実した診療活動が行なえるものと期待されています。

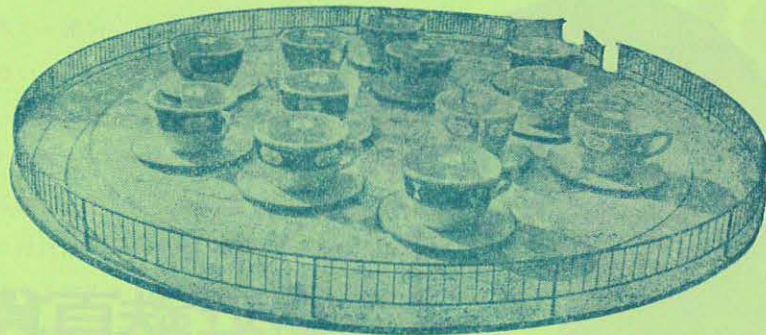
§「鶏のおもちゃ展」

毎年エトにちなむ、おもちゃ展を開いていますが、今年のエトの酉にちなみ、「鶏のおもちゃ展」を北園展示館で開催しています。日本の鶏、165点、外国25ヵ国、122点の鶏に関するおもちゃと鶏の資料82点が展示されています。期間は1月2日～1月31日までです。

休園日のお知らせ

動物園の休園日は毎月第3月曜日です。4月までの休園日は下記の通りです。
1月19日(月)、2月16日(月)、3月16日(月)、4月20日(月)。
開園時間は9時半～5時で、4時に切符売止めになります。

遊園施設委託経営・製作・販売



久竹娛樂株式会社

本社工場 大阪市西区北堀江1丁目23番21号
電話 大阪(06)541-3112・3938 番

なきごえ 昭和56年1月15日発行(毎月1回15日発行)

編集/大阪市天王寺動物園

発行人/大阪市天王寺動物園協会 和田辰巳

印刷所/株式会社 松村善進堂 定価100円(送料共)

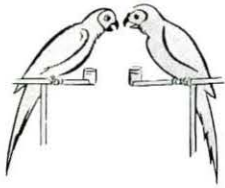
第17巻第1号(通巻185号)

〒543 大阪市天王寺区玉水町2

電話 大阪 (06)771-0201

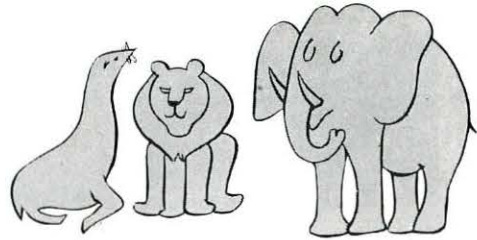
振替口座 大阪 37823

1年継続(12部)1,100円(送料共)



鳥獣輸入

全国動物園水族館御用達



- ・医学実験用動物
- ・愛玩犬、猫直輸入
- ・宣伝用、テレビ用、貸動物
- ・教材用鳥獣剥製販売
- ・原色世界雑類図鑑(34種1枚もの)要郵便券150円・鳥獣価格表100円

有限会社 吉川商会

本社 神戸市生田区中山手通三丁目二八番地 電話(078)221-8195・221-1517
 飼育場 神戸市葺合区神仙寺通三丁目一番地 電話(078)241-3494



自然の
おいしさ

全糖

- 合成甘味料・合成保存料・合成糊料・合成着色料はっさい含まれていません。



雪印ヨーグル

各130cc.=90円

パイン・オレンジ・ストロベリー・フルーツカクテル

編集委員

飯野 健一・前本 妙子・大野 昌信・藤原 安昭・樽本 勲・土井 良彦
 高橋 真三・森本 武志・石巻 宏胤・野口 秀高・宮下 実・橋本 一郎
 長瀬健二郎・三浦 正明・坂谷 文彦・仲谷 登・森本 泰利